

## 令和7年度 京田辺市産業振興ビジョン推進委員会 (第2回) 会議要旨

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 副市長あいさつ
- 4 委員長選出  
郡島委員を選出
- 5 職務代理者指名  
中村委員を指名
- 6 会議の公開について  
傍聴希望者なし
- 7 令和6年度アクションプラン（後期）評価結果の報告について  
【事務局】（資料説明）

【委 員】工業の分野でFabスペース事業が今年度で終了することだが、事業者によくこのスペースをご紹介してかなり好評を博していた状況だった。利用者の数が年々減ってきたというのは事実か。

【事務局】利用者として大学生のサークルが使われたことはあったが、中小企業者の事業者の利用が進まない状況であった。問題点として、1つ目は設置機器が古くなる一方で、常に最新の物に買い替えるだけの資金がないこと。2つ目に、先端の機械の使い方を教えられる人材がいらっしゃらないことや、好人材の確保には高額の報酬をお支払いしないといけないということ。3つ目に、それと社会的ニーズの変化、人材不足や

物価高騰が非常に進んでいるため、中小企業者が新製品開発への余裕がない状況が続いていること。以上のような理由から、今回終了とした。

【委 員】今年の米の出荷量は昨年と比べどうか。また、市内産の米の京田辺市、市外での流通割合は。

【事務局】昨年と比べ、全体的には量は多いと感じる。流通については、小規模農家が多いこともあり、ほとんどが自己流通米、一定規模の農家はJAへ売り渡しているが、その後の販売先は把握していない。したがって、この地域は自己流通米が多いと思う。

【委 員】観光分野で、京田辺市はどのくらいインバウンドで来ているのか。現在、どのような観光の目標を持っているのか。

【事務局】外国人の人数は具体的な人数はわからないが、京都市内ほどいらっしゃらない。観光への取組については、京田辺市は住宅都市として開発が進んできたという側面が非常に強い。地域資源を知らない方も多い中で、まずは市民の中で機運を高めていく取組が必要と考えている。

【委 員】外国人は近鉄を使わない。ユーレイルパスを買って持ってくるので全部JRを使って、ほとんど近鉄には乗っていない。京田辺は外国人を期待するのは難しいと思う。

【委 員】農業分野の有害鳥獣被害対策で、捕獲したイノシシはジビエ料理など有効活用しているのか。

【事務局】基本的に有害駆除で捕獲したイノシシは埋設処分が主な対応になる。ジビエといった有効利用できたらいいが、まずそのような施設がない、またおいしい時期に限って捕っているわけではないと、有効利用するためには止め刺しの仕方も工夫しないといけない。流通の関係も確立できないのもあり、今のところ有効利用という形にはできない状況。

## 8 京田辺市産業振興ビジョンの改定について

【事務局】(資料説明)

【委員長】3章以降はよく書いているが、2章と3章が繋がっていないビジョン案となっている。

また、例えば、観光分野で「連携」と書かれているが、観光を産業はどう結びつけるかなどが必要で、どう連携をしていくのか抽象的に書かれていて統一感に欠けていてわかりにくいと思う。

【委 員】京田辺市の強みの部分で人口の増加というのが出てきますが、人口はそれほど多くない。人口増加率が多いということか。

【委 員】京田辺で生活している人は京田辺市外で消費しているので、人口が増えている割に市内での消費が増えている実感が少ない。PR できていないのでお店が減っている。京田辺は通過地点であって住んでいるだけ。

【委 員】全国でも話題になっていますが外国人との共生の問題。外国の方がどのくらいいらして、どういう仕事しているのかわからないので、その方達も検討に入れてもらえたらいいと思う。

【委 員】基本戦略（3）特産農産物の生産振興、34 ページに基本戦略（1）食育地産地消の推進、この 2 つにもっと力を入れてほしい。

【委 員】京田辺は交通利便性が強みとありますが、交通利便性が弱みになることはないのか。売り方、訴求の仕方はいろいろあるので、なす、海老芋を継続的に特産品として売っていくのかしっかり考えて欲しい。

【委員長】公共交通の路線の廃止や時刻表で間引きされていることとか田辺の事情が書かれていません。不便になって社会的弱者に対する交通のアクセスが減っていることなどを書く必要がある。

【委 員】全体的に、観光資源とか地域資源とか文化財とか抽象的に書かれている。具体的には観光資源は何になるか。

【事務局】甘南備山で展望施設を整備中。例えば平安京が造営されたときに、北の船岡山と南の甘南備山を結んだ直線上に平安京の中軸線が設けられたという説が地元で知られていても、多くの方に周知できていない部分があり、そういったところを掘り起こして PR していく。

ただ、次の 10 年間で新たに出てくるものもあるため、なかなか具体的に書けない部分はある。

【委員長】第 2 章のところで例示として、より具体的に書いてもらうと良い。京田辺の資源にはこういうものがあり、それをどうやって活かしていくか。それを書いた上で後ろの戦略等を見ていくべき、少しはわかりやすくなる気がする。文言の訂正は事務局へ送るということでお願いする。